



雑草対策（維持管理）

管理の時期、機器、薬剤、資材を組み合わせ、雑草のお困りごとにお応えします。

毎年同じ時期に同じ管理を行っている、そのサイクルを避けた雑草が繁茂し、処置が困難になっていきます。

生えている雑草の種類と特性を見極めて、的確な対処方法をご提案します。

雑草対策手法の例

- 雑草に合った除草剤の選択、使用時期の選択
- 成長抑制剤の使用
- 自動草刈り機の導入
- 水蒸気式除草機の使用
- 防草シートなどの物理対策と緑地の集約化

雑草対策（維持管理）

1 要望や条件の間取り 雑草種の特定

お客様の要望や、施工の条件（薬剤利用の不可、施工時期・時間の条件など）を間取りします。

現在生えている雑草の種類や分布を調査します。季節変化もあるので、数か月ごとの観察が必要な場合があります。



2 対策の立案

お客様の要望、条件、生えている雑草種を勘案して、効果的な雑草対策を立案し、方法・スケジュール・費用をご提案します。



3 実行

対策に沿って施工を行います。

場合によっては、小規模な改修（土の入れ替えや植替え）を伴う場合もあります。

実施中に変化があれば、それに合わせて施工内容を調整していきます。



4 効果の確認 新たな計画の立案

数年ごとに効果を確認して、状況変化に合わせた計画をご提案します。

雑草の種類は無数にあり、状況変化に合わせた草種が繁茂することから、一時的に強度の対策が必要になる場合もあります。

